

平成30年度 9月補正予算の概要

復興・再生に向け直面する課題への対応に必要な経費など緊急に措置すべき予算を計上した。

方針

- 最重点方針1 「復興のさらなる推進」
 - 最重点方針2 「旧避難指示区域の再生」
 - 最重点方針3 「生産年齢人口の拡大」
- 「100年のまちづくり」家族や友人とともに暮らし続けるために

一般会計予算規模 平成30年度

612億2,493万円
(69億2,738万円追加)

69億2,738万円を追加し、補正後の一般会計歳入歳出総額が612億2,493万円となった。

主な事業

◎は新規事業

私立幼稚園等埋設保管除去
土壌等撤去事業 新

私立幼稚園、保育園（保育施設等）に埋設保管している、表土改善事業で発生した除去土壌等を撤去し、仮置場へ搬出。

1億699万円

小中学校埋設保管除去
土壌等撤去事業 新

小中学校に埋設保管している、表土改善事業で発生した除去土壌等を撤去し、仮置場へ搬出。

1億8,540万円

公衆トイレ整備事業
(磐城太田駅前・桃内駅前) 新

周辺住民、駅利用者等の利便性の向上を図るため、公衆トイレ整備に向けて地質調査や実施設計を実施。

208万円

小高区復興拠点
オープニングイベント事業 新

小高区復興拠点施設のオープニングイベントを実施。

423万円

保育士等修学資金
貸付事業 新

保育士養成施設に修学し、将来、市内の私立保育園等で保育士等の業務に従事しようとする者に修学資金を貸付。

200万円

公共施設再編・
個別施設計画策定事業 新

施設総量縮減についての方針を盛り込む再配置計画を策定。再配置計画に基づく個別計画を策定。

530万円

9月議会

9月議会は9月5日から28日までの24日間行われ、議案35件(条例関係4件、人事関係1件、予算関係9件、決算関係16件、その他5件)を審議し、原案通り可決しました。

【目次】

9月定例会議案とその結果……………2～8頁

請願・陳情……………6頁

決算審査特別委員会報告……………10頁

意見が分かれた議案……………11頁

東日本大震災・原子力災害復旧復興調査特別委員会報告 ……11頁

議会改革検討特別委員会 新庁舎建設特別委員会報告 ……12頁

一般質問……………13～19頁

傍聴記、編集後記、次回定例会の日程……………20頁

委員会審査において、審査した常任委員会を以下のように省略し記載しております。

総務常任委員会 → 総

所管：議会・総務部・復興企画部・会計課・選挙管理委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会の所管する事項並びに他の委員会が所管しない事項

文教福祉常任委員会 → 文

所管：市民生活部・健康福祉部・教育委員会・総合病院・小高病院の所管する事項

建設経済常任委員会 → 建

所管：経済部・建設部・農業委員会の所管する事項

歳出

予算審査

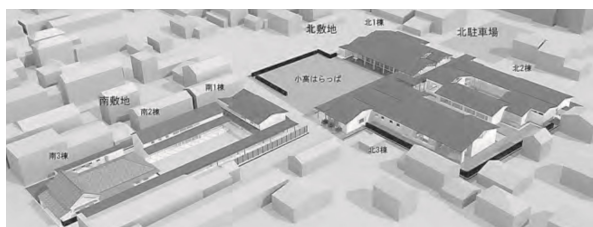
議案第109号 平成30年度南相馬市一般会計補正予算については、原案の通り可決。

○小高区復興拠点施設管理運営事業 総
1千92万円

【事業内容】
維持管理費用・人件費、光熱水費、業務委託費ほか

【質疑】 地域マルシェ等のテナントまで全て指定管理に出すとのことだが、テナントの入居状況に応じて管理運営費を算定するのか。

【答弁】 テナントの内、地域マルシェについては現在応募がない状況であり、テナントが空くような状況になった場合でも、指定管理料には反映されない。また、地域マルシェに最終的に入居者が見つからなかった場合は、地域マルシェという本来の趣旨とは



小高区復興拠点施設バース図

異なるが、例えば健康教室など地域の賑わいを深めるような事業や使い方は認められており、多様な用途により稼働率を上げていきたい。

○小中学校埋設保管除去土壌等撤去事業 ◎
1億8,540万円

【事業内容】
・事業箇所(2校) 太田小学校 八沢小学校
・事業スケジュール 工期：平成30年11月～平成31年3月

【質疑】 撤去作業について、どのように計画しているのか。

【答弁】 11月から3月までの工期であるが、この事業は安全対策が非常に重要であり、学校の授業に影響がないよう、工事エリアに高さ3m程度の仮囲いを設け、搬出土壌の飛散がないよう、耐候性大型土のうを使用するなど最善の仕様として実施していく。また、卒業式前までに完了する計画で進める。